



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和3年10月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日医認定産業医研修(令和3年8月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
9月13日(月)	10時～	10月4日(月)	14時～16時	職場復帰支援のあり方	専門2
9月14日(火)	10時～	10月5日(火)	14時～16時	海外派遣労働者の健康管理～新型コロナ対策も含めて～	専門2
	10時30分～	10月19日(火)	14時～16時	働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～	更新2
9月15日(水)	10時～	10月6日(水)	14時～16時	高齢労働者の安全衛生対策の進め方	更新2
	10時30分～	10月20日(水)	14時～16時	高齢労働者の安全衛生対策の進め方	更新2
9月16日(木)	10時～	10月14日(木)	14時～16時	労働災害と産業医～労働災害について産業医の知っておくべきこと～	更新2
9月17日(金)	10時～	10月8日(金)	14時～16時	衛生委員会の活用促進	更新2
	10時30分～	10月15日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3
	11時～	10月22日(金)	14時～16時	産業保健と法～産業医に関する裁判例～	更新2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
10月4日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 9月13日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・ 専門2	24
10月5日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 9月14日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了	海外派遣労働者の健康管理～新型コロナ対策も含めて～ 社会のグローバル化にともない、海外に社員を派遣する企業が増えています。こうした海外派遣社員には感染症など様々な健康問題があり、それに対応するための健康管理対策が求められています。本研修会では、産業医が海外派遣労働者に提供すべき健康管理対策について、新型コロナなどの感染症対策を含めて解説します。	濱田 篤郎	生涯・ 専門2	24

<p>10月6日(水)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 9月15日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>10月8日(金)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 9月17日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>衛生委員会の活用促進</p> <p>現代の職場を取り巻く労働衛生の課題は多岐に渡ります。企業が、過労死対策やメンタル対策をはじめとする様々な対策に取り組んでいくためには、衛生委員会において、各対策の方針や具体的な展開について十分に調査審議することが必要です。昨年来の新型コロナウイルス感染症について、職場における対策をどうするのか議論するのが正に衛生委員会であり、新型コロナウイルス感染症対策のように緊急の課題が発生した際に、衛生委員会が十分機能していなければ迅速かつ的確に対応できず、事業活動に大きな影響を与えかねません。この研修では、衛生委員会に関する法令や行政通達を解説した上で、衛生委員会の進め方や議題のありかたなど衛生委員会の機能を高めるためにはどうすれば良いかを考えていきます。</p>	<p>野村 みどり</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>10月14日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 9月16日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>労働災害と産業医～労働災害について産業医の知っておくべきこと～</p> <p>産業医は労働者の健康をどう確保するかが職務であり、そのために行うべきことが労働安全衛生法に定められています。しかし、過労死や精神障害をはじめとした職業性疾病はそれが業務上であれば労働災害となります。そして、労働災害の発生の仕組み、災害防止の原則、取り組むべき対策には基本的事項があります。負傷(けが)でも疾病(病気)でもその原則は同じです。今回はその原則を産業医の知っておくべきこととして解説していきたいと思ひます。</p>	<p>中山 篤</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>10月15日(金)</p> <p>13:30～16:30</p> <p>申込受付日時 9月17日(金) 10時30分～ 定員に達し第 受付終了</p>	<p>作業環境測定方法</p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	<p>市川 英一 岩崎 毅</p>	<p>生涯・実地3</p>	<p>16</p>
<p>10月19日(火)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 9月14日(火) 10時30分～ 定員に達し第 受付終了</p>	<p>働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～</p> <p>ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。</p>	<p>古山 善一</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>10月20日(水)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 9月15日(水) 10時30分～ 定員に達し第 受付終了</p>	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>
<p>10月22日(金)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 9月17日(金) 11時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>産業保健と法～産業医に関する裁判例～</p> <p>産業医が訴えられた例、産業医が深く関与した例のうち、主要なものを取り上げ、事案と裁判所の判断、得られる実務上の示唆を学びます。</p>	<p>明治大学 兼任講師 原 俊之</p>	<p>生涯・更新2</p>	<p>24</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**9月21日(火)10時～**です。

＜web研修＞ ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
10月18日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】働きやすい職場づくり/ストレスチェック制度の活用度はいかがでしょうか～高ストレス者対応と職場環境改善へのスタート～</p> <p>ストレスチェック制度の実施もスムーズにしているところが多いことでしょう。年1回の実施で、どのような効果を実感しておりますでしょうか。実際面、外部委託業者の活用でのストレスチェックの実施も多いかもしれませんね。今後、小規模事業所(50人未満事業所)の実施も多くなってきているのではないのでしょうか。助成金制度の活用について、実践を踏まえてお伝えしたいと思います。また、高ストレス者対応、さらに職場改善への対応等も一緒に考えて活用したいところですね。ご一緒にどうぞ、ご参加お待ちしております。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	菅野 由喜子	単位なし	25

＜会場研修＞

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
10月21日(木) 14:00～16:00	<p>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	スポーツケア 整体研究所(株) 小沼 博子	単位なし	12
10月25日(月) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明いたします。後半に質疑応答の時間を設けています。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	10
10月26日(火) 14:00～16:00	<p>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</p> <p>定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	高山 俊政	単位なし	12

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**9月21日(火)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
10月18日(月) 14:00～16:00	<p>【web研修会】働きやすい職場づくり/ストレスチェック制度の活用度はいかがでしょうか～高ストレス者対応と職場環境改善へのスタート～</p> <p>ストレスチェック制度の実施もスムーズにしているところが多いことでしょう。年1回の実施で、どのような効果を実感しておりますでしょうか。実際面、外部委託業者の活用でのストレスチェックの実施も多いかもしれませんね。今後、小規模事業所(50人未満事業所)の実施も多くなってきているのではないのでしょうか。助成金制度の活用について、実践を踏まえてお伝えしたいと思います。また、高ストレス者対応、さらに職場改善への対応等も一緒に考えて活用したいところですね。ご一緒にどうぞ、ご参加お待ちしております。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	菅野 由喜子	25

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
10月12日(火) 14:00～16:30	<p>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために～治療と就労のバランスを支えるヒント～</p> <p>本研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを旨として、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。グループワークの代わりに、研修内でワークシートを記入・提出いただくことで質問・考えを共有しながら、全員で学びを深めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○両立支援度チェック ○がんの現状と両立支援ガイドラインの概要を理解する ○事例をもとに、がんをもつ社員の就労支援を考える <ul style="list-style-type: none"> ・勤務スケジュールの配慮 ・職務内容の配慮と、同僚への伝え方 ・両立を支える職場づくり <p>※本研修では個人ワークを行い、その場で提出いただきます。(提出物は研修終了時に返却します)</p> <p>※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。</p>	佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	24
10月21日(木) 14:00～16:00	<p>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動くようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p> <p>◆重要◆マスク着用で体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください。</p>	スポーツケア 整体研究所(株) 小沼 博子	12
10月25日(月) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、テーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明いたします。後半に質疑応答の時間を設けています。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	14
10月26日(火) 14:00～16:00	<p>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</p> <p>定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	高山 俊政	12